

# 美しい星へのいざない「Invitation to “Cool Earth 50”」

～ 3つの提案、3つの原則 ～

## 〔国民運動展開〕

< 6%削減目標の達成に向けて >  
 「1人1日1kg」をモットーに、努力と工夫の呼びかけ

## 【現状】

|        |     |
|--------|-----|
| 1. 米国  | 22% |
| 2. 中国  | 18% |
| 3. ロシア | 6%  |
| 4. 日本  | 5%  |
| 5. インド | 4%  |

## 〔中期戦略〕

< 2013年以降の枠組み構築に向けた「3原則」 >

主要排出国が全て参加し、京都議定書を超え、世界全体での排出削減につながること。

各国の事情に配慮した柔軟かつ多様性のある枠組みとすること。

省エネ等の技術を活かし、環境保全と経済発展とを両立すること。

## 〔長期戦略〕

< 2050年半減に向けて >

### 「革新的技術開発」

- 石炭火力発電の排出量ゼロ
- 原子力発電の平和利用推進
- 太陽光発電の高効率化
- 燃料電池など次世代自動車
- 製鉄など産業技術の飛躍

### 「低炭素社会づくり」

- 自然と共生した生活
- 公共交通機関の活用
- コンパクトなまちづくり
- 「もったいない」の心、「日本モデル」の発信

【2050年】

【世界に共有を呼びかける目標】

途上国  
約6割  
(推計)

年間排出量を現状の半分に

自然界の年間吸収量と同じレベルに

## < 日本の役割 >

過去30年間でGDP 2倍、石油消費量 8%減  
 GDP当たりのCO2排出量が世界一少ない

日本の提案に応える途上国支援のための資金メカニズム構築  
 エネルギー効率に関する東アジアの取組を世界に拡大

|           |                 |          |          |       |                |
|-----------|-----------------|----------|----------|-------|----------------|
| 2007年 4月  | 6月              | 9月       | 11月      | 12月   | 2008年 7月       |
| 日中・日米首脳会談 | ハイリゲンダムサミット(G8) | APEC首脳会議 | 東アジアサミット | COP13 | 北海道洞爺湖サミット(G8) |

大気中の温室効果ガス濃度の安定化

「美しい星」  
 (Cool Earth) の実現へ